

日本周産期・新生児医学会 教育・研修委員会企画セミナーのご案内

締切:5月30日(金)午後3時 ただし先着順となりますのでご注意ください

※3 ページ目の「お申し込みの際の注意事項」を必ずお読みになり、お申し込みください。

一部セミナーにおいて、受講料をお支払いいただくことになりました。受講のお申し込みをいただいた後、事務局から決済用のURLをメールアドレス宛にお送りし、ご自身のクレジットカードで決済していただきます。ご承知おきくださいますようお願いいたします。

事前申し込み:要 ①～④は受講料が必要です

セミナー番号① 医療統計セミナー 基本編

「今日から使える医療統計～実践ワークショップ～」

日 時：7月12日(土) 15:00～17:00 ※学術集会開催の前日ですのでご注意ください
会 場：第12会場 会議室 801・802 (8F)
座 長：田嶋 敦先生 (杏林大学医学部 産科婦人科)
講 師：新谷 歩先生 (大阪公立大学 統計学教授)

募集人数 現地：40名 (受講証あり) ウェビナー：100名 (受講証なし)

受講料：2,000円

内 容：観察研究のデータなど背景の揃わないデータの解析を無料ソフト「EZR」を用いて自身のパソコンを持参し実践形式で行うセミナーです。

セミナー番号② 吸引分娩ハンズオン

「吸引分娩の実際:ポイントとピットフォール」

申込の際、Formに吸引分娩経験有無等ご入力ください

日 時：7月13日(日) 9:40～11:40
会 場：第12会場 会議室 801・802 (8F)
座 長：宮越 敬先生 (社会福祉法人聖母会聖母病院 産婦人科)
長谷川 潤一先生 (聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科 周産期発生病態解明学分野)
講 師：仲村 将光先生 (藤田医科大学 産婦人科学)

募集人数 20名 (受講証あり)

受講料：2,000円

内 容：吸引分娩は、胎児機能不全などの緊急時に必要となる産科手術手技であるが、分娩を取り扱う産婦人科医には最低限身につけておかなければならない基本手技です。本ハンズオンセミナーでは吸引分娩の経験の少ない若手産婦人科医を対象に吸引分娩の基礎とコツを伝授します。今回は、わが国の安全な産科医療の提供を第一に考えて、実際、当直中などに吸引分娩を一人で施行する可能性のある後期研修医、若手医師 (初期研修医の先生はごめんなさい) に、しっかりと正しい手技と考え方を学んで欲しいと考えます。

セミナー番号③ 新生児科医なら経験すべき手技

日時：7月14日(月) 9:00~11:00

会場：第12会場 会議室 801・802 (8F)

座長：中西 秀彦先生 (北里大学医学部付属新世紀医療開発センター

先端医療領域開発部門 新生児集中治療学)

石田 宗司先生 (北里大学病院 小児科)

講師：甘利 昭一郎先生 (東京大学大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻)

募集人数 30名 (受講証あり)

受講料：2,000円

内容：新生児救急で不可欠な気管挿管、臍帯静脈カテーテル挿入、胸腔穿刺は、緊急時に迅速な対応が求められる一方で、十分な経験を積む機会が限られています。本セミナーでは、1. 気管挿管は挿管練習用マネキン(低出生体重児)、2. 臍帯静脈カテーテル挿入はヒト臍帯、3. 胸腔穿刺は骸骨モデル(気胸)を用いてシミュレーショントレーニングを行います。参加者がこれらの手技を習得し、緊急時に自信を持って対応できる能力向上を目指します。

※1~3のセッションのうち2つの受講となるため、第2希望まで入力してください。

なお、各セッションの受講調整はご希望をもとに事務局で行うためご了承ください。

セミナー④~⑥は開催日時が同じですので、お申込みの際はご注意ください

セミナー番号④ 早産児のMRI読影

申込の際、Formに卒後年数と読影機会をご入力ください

日時：7月14日(月) 13:50~15:50

会場：第12会場 会議室 801・802 (8F)

座長：友滝 清一先生 (京都大学医学部附属病院 小児科)

講師：柴崎 淳先生 (神奈川県立こども医療センター 新生児科)

城所 博之先生 (名古屋大学医学部小児科)

募集人数 30名 (受講証あり)

受講料：2,000円

内容：無料のDICOMビューア「Osirix Lite」を使用して、早産児の頭部MRIの読影について実践形式で行うセミナーです。講師から解説を行った上で、小グループに分かれてディスカッションしながら、実際の画像を読影します。早産児の頭部MRIの読影のポイントを理解することを目標にしています。

セミナー番号⑤ 基礎から学ぶ！！

知っておくべきフォローアップのABC ~症例を通じて学ぼう

日時：7月14日(月) 13:50~15:50

会場：第10会場 特別会議室 (12F)

座長：中西 秀彦先生 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科)

久保田 真通先生 (倉敷成人病センター小児科)

講師：河野 由美先生 (自治医科大学 小児科)

竹内 章人先生 (岡山医療センター 新生児科)

加藤 英子先生 (公立陶生病院 小児科)

片山 修一先生 (倉敷中央病院 外科)

会場収容可能人数 360名 (当日飛び込み可)

内容：NICU退院後のフォローアップは、新生児医療において欠かすことのできない大切なプロセスです。発達支援のタイミングや家族への関わり方に悩むケースも多く、現場では実践的な知見が求められています。本セミナーでは、「後障害なき生存」を目指し、超早産SGA児、21トリソミー、小児外科疾患のフォローアップを通じて、支援の“いま”を共有します。明日からの臨床に役立つ内容満載です。奮ってご参加ください！

事前申し込み:不要 当日会場へ直接お越しください 受講料は不要です

セミナー番号⑥ 周術期感染症

-日本周産期・新生児医学会で考える予防から治療まで-

※専門医共通講習(感染対策)

日時: 7月14日(月) 13:50~15:50

会場: 第3会場 イベントホールE (3F)

座長: 尾花 和子先生 (日本赤十字社医療センター 小児外科)

照井 克生先生 (埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科)

講師: 芳賀 光洋先生 (埼玉医科大学総合医療センター 新生児科)

山道 拓先生 (福山医療センター 小児外科)

橘 一也先生 (大阪母子医療センター 麻酔科)

伊藤 健太先生 (愛知県立小児医療センター 総合診療科)

三浦 清徳先生 (長崎大学 産婦人科)

丸山 春美先生 (熊本市立熊本市市民病院)

収容可能人数 約500名

内容: 新生児外科手術の感染症対策は重要です。本セミナーでは胎児期 - 出生 - 診断 - 手術 - 術前術後管理という流れの中で関連する医療者が、手術感染症をテーマに“患児と家族の為にすべきこと・できること”を情報提供し自由に語り合う“場”を提供し、専門性を超えて多職種で新生児外科手術感染症に立ち向かう契機となるようなワークショップにしたいと考え、講師の先生方による情報提供と参加者全員での討論で構成しました。主役はご参加の皆さんです。

※お申し込みの際の注意事項(必ずお読みください)

- ・①~④につきましては、原則として申し込み順になりますが、当学会会員でセミナー受講歴のない方を優先させていただきます。なお、セミナー⑤はお申し込みがなくてもお入りいただけますが、会場が満席になった場合はご了承ください。
- ・お一人3つまで受講希望セミナーを入力いただけます。
- ・セミナー番号の入力忘れ、申込者情報の入力漏れによる再入力を受け付けいたしません(受付不可であった旨、事務局から連絡はいたしません)。
- ・お一人が何度もフォームに入力したことが確認された場合、申し込みを削除いたします。変更したい場合は seminar2025@jspm.org へお問い合わせください。
- ・申し込み確認はご遠慮ください。申込書の拝受メールは送信しません。
- ・お支払いいただいた受講料は、いかなる理由でも返金いたしません。
- ・セミナー直前・直後にご発表や参加されたいセッションのある方はお申し込みをご遠慮ください。また、セミナー中の入退席もご遠慮ください。
- ・事務局からは受講決定時・事前案内等、メールを複数回お送りします。申し込みの際、会員情報にご登録のアドレスを記載いただきますようお願いいたします。メール不着による責任は負いません。jspm.org のメールを受信できるようご自身でメールの設定をしてください。事務局からのメールが来ない場合は、迷惑メールフォルダ等ご確認ください。お申し込み後、事務局からの連絡がない場合は7月4日(金)までに必ずお問い合わせください。
- ・②ならびに④のセミナーは一部の個人情報(お名前・領域・卒後年数や医師年数・ご所属先等)を、講師・チューター・インストラクターへお伝えします。ご了承ください。ご了承いただける方のみお申込みください。